

取付/取扱説明書

REAR CAMERA ADAPTER RCA092K

スズキ「全方位モニター用カメラ(左右確認サポート機能付き)」 カメラ接続アダプター

本製品は、スズキ「全方位モニター用カメラ(左右確認サポート機能付き)」装備車の全方位カメラ映像を、市販ナビゲーション(カメラ入力:ピン端子)に映すアダプターです。

内容物一覧(取り付け前に必ずご確認ください)

- リアカメラ接続アダプター ×1
- 切替スイッチ ×1
- 両面テープ大/小 ×各1
- RCA変換アダプター ×1
- 結束バンド ×3
- オスギボシ ×4セット
- 取付/取扱説明書(本書) ×1
- メスギボシ ×1セット

ご相談窓口



サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
お電話 086-486-0442

【受付時間】月曜日～金曜日
10:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)



メールでのお問い合わせ

<https://www.datasystem.co.jp/support/index.html>



弊社製品紹介・製品取付 動画サイト

<https://www.youtube.com/user/datasystem001/videos>



Data System 株式会社 データシステム

<https://www.datasystem.co.jp/>

■ [本 社] 東京都新宿区新宿1-18-2 ■ [倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11

本書は著作権法で保護されています。本書に記載の一部、または全部(デザイン含む)を(株)データシステムの許諾・許可なしに無断で転用・複製・改変・掲示・頒布・販売・出版などおこなうことを固く禁じます。

注意事項

本書には取り付け/取り外し作業中の事故、または不適切な作業による車両損傷などにより、安全と信頼性が損なわれないよう守るべき項目を記載しています。ただし、これらの表記は起り得るあらゆる現象に関して、すべて記載することはできないため、これらの記載事項さえ守れば良いという絶対的なものではないことを、あらかじめご承知おきください。

重要

本製品を取り付ける前に知っておいていただきたいこと

- 取り付けるモニター(ナビゲーション)にリアカメラ入力端子(ピン端子)があることを確認してください。
- 必要な場合はビデオ延長ケーブルを別途ご用意ください。
- 本製品から出力される映像にはカメラのガイドラインも表示されます。ナビゲーションのガイド線と重複する場合にはナビゲーションのガイド線を非表示にしてください。ナビゲーションによっては「車両周辺の安全を直接確認してください」などの注意喚起メッセージが重複して表示されたままになる場合がございます。

注意

守らないと車及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの

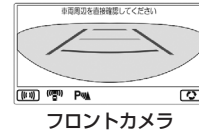
- 取り付け前に、必ずエンジンを停止させバッテリーマイナス端子を外してください。ただし、その場合はラジオや時計などのメモリー内容が消えてしまいます。消えてしまうと困るメモリーの内容は、バッテリーマイナス端子を外す前に必ずメモしておき、取り付け完了後、再度入力してください。
- テレビモニターやチューナーなどを点検、修理に出される際には必ず本製品を取り外して頂きますようお願い致します。本製品を含みアフターパーツ類を取り付けている場合、ディーラーによってはメーカー保証が受けられない場合があります。
- 本製品を使用、操作したことによって発生した、人身・物損事故の責任・補償は一切負いません。
- ユニット内の音楽ディスク、地図ディスク等すべてイジェクトしてから、脱着作業をおこなってください。
- コネクターを外すときは、コネクターの抜け防止爪をしっかり押し込み、まっすぐ引き抜いてください。コネクターを無理に引っ張りますと、車両側ユニット内の基板が破損する恐れがあります。
- 配線部分を引っ張ることは絶対にしないでください。断線、接触不良を引き起こす恐れがあります。
- コネクターを接続するときは、カチッと音がするまで奥まで確実に差し込んでください。
- 本製品は、必要に応じて配線部を結束バンドで固定してください。固定しないとコネクターの接触不良、配線の断線の恐れがあります。
- 本製品を取り付ける際は、ハーネス、配線がパネルやシートレール、ペダルなどに噛み込まれたり挟まれる可能性のある場所には絶対に設置しないでください。製品の破損やハーネス断線の恐れがあります。
- 本製品の取り付けには専門知識が必要ですので、販売店または整備工場などに作業を依頼してください。
- 適合外の車両へ取り付け発生したクレーム、事故、故障などに関する責任は弊社では一切負いません。あらかじめご了承ください。

使用方法 条件によって表示されるカメラ映像は異なります。下記をご参照ください。

- ！重要**
- 本製品から出力される映像にはカメラのガイドラインも表示されます。ナビゲーションのガイド線と重複する場合にはナビゲーションのガイド線を非表示にしてください。ナビゲーションによっては「車両周辺の安全を直接確認してください」などの注意喚起メッセージが重複して表示されたままになる場合がございます。
 - 切替スイッチのLEDはエンジン始動中は点灯したままになります。



[D・N・M]
の時



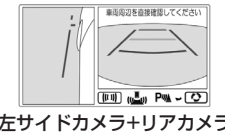
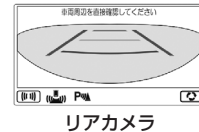
パーキングブレーキを解除した状態でエンジン始動中に切替スイッチを2秒以上長押しするとLEDが点滅してモードが変わります。(モードは交互に切り替わります)

●LEDが遅い点滅になった場合・・・ノーマルモード(工場出荷時)
時速が約10km/hを越えるとナビゲーションの元画面(地図など)へ切り替わります。

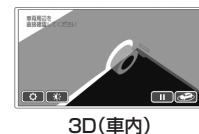
●LEDが早い点滅になった場合・・・カメラ継続モード
時速が約10km/hを越えてもカメラ映像が表示されますが左サイドカメラ映像のみで表示が継続します。
切替スイッチを押すとカメラ映像は消えて、元の画面(地図など)に戻ります。



[R(リバース)]
の時



[P]
の時



注意

- 本製品では、全方位モニター映像の画質調整および3Dビューの一時停止/再生をすることができません。
- Pレンジ以外へシフトする、または3分間経過するとナビゲーション画面に切り替わります。

取付方法

本製品を接続するカメラ用コネクタは、ナビゲーション装着スペースにあります。

1. バッテリーのマイナス端子を取り外します。
2. 右の接続概要図を参照して本製品の各配線を接続します。
3. ナビゲーションが動作する状態まで内装を復元して、バッテリーマイナス端子を接続します。
4. シフトレバーを「R(リバース)」にして、ナビの画面がカメラ映像に切り替わることを確認してください。
5. 「[4.]の状態」で本製品の【切替スイッチ】を押して、カメラ映像パターンが切り替わることを確認してください。
6. 「R」以外にシフトを動かしたとき、ナビ画面がリアカメラから他の画面に切り替わることを確認してください。
7. 次に本製品の【切替スイッチ】を押して、ナビの画面がカメラ映像に切り替わることを確認してください。
8. 「[7.]の状態」で本製品の【切替スイッチ】を押して、カメラ映像のパターンが切り替わることを確認してください。
9. 取り外したパネル類を元に戻し、取り付け作業は終了です。

ONE POINT

●シフトレバーを「R(リバース)」にしてもリアカメラの映像が表示されない場合は、次の項目を点検してください。

1) 画面がカメラ画面へ切り替わらない場合

- ・ナビのメニュー項目でバックカメラの設定を再確認してください。
- ・ナビのバック信号線が本製品のバック信号線(紫黒線)に正しく接続されているか再確認してください。
- ・キー ON 時に切替スイッチが点灯していない場合は、本製品の ACC と GND の接続を再確認してください。

2) 画面がカメラ画面へ切り替わるが、カメラ映像が映らない場合

- ・本製品を接続している RCA 端子はカメラ入力に間違いありませんか？ナビの取付説明書で端子名称を再確認してください。
- ・ACC-ON では車両システムが作動しないため、エンジン作動状態で再確認してください。
- リバース時以外にスイッチを押してもフロントカメラの映像が表示されない場合には次の項目を点検してください。
- ・ナビゲーション側のバック信号線・車速信号線、及び本製品のバック信号出力・車速信号出力が車両側配線に接続されていないかを再確認してください。接続されている場合は切り離してください。

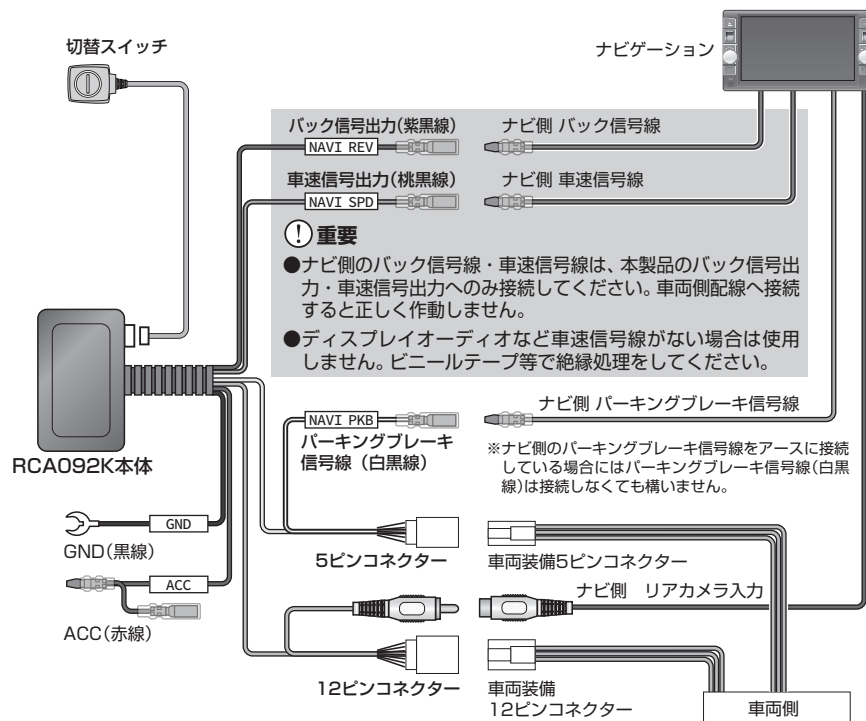
接続概要図

【クロスビー (R2.11 ~) 以外の車両へ取り付ける場合】



重要

本説明書はナビが装着されていない状態を前提としております。既にナビが装着されている場合は、ナビの信号配線(車速・バック・パーキングブレーキ)をはずしてから作業を行ってください。



注意

- 必要に応じてギボシ端子を取り付けて接続してください。
- 装着されるナビによっては、本製品が作動中に車速に関するエラーメッセージが現れることがあります。この場合は本製品の車速信号出力は使用せず、ナビ側の車速信号線を直接車両側の車速信号線へ接続してください。
- 本製品の動作中は、ナビの自車位置が不正確になります。これは本製品がナビへバック信号を出力し強制的にリアカメラ画面を表示しているためです。不正確になった自車位置は、本製品の動作停止後にナビのGPS機能によって補正されます。(補正にかかる時間はGPSの受信状況により変わります。)

取付方法

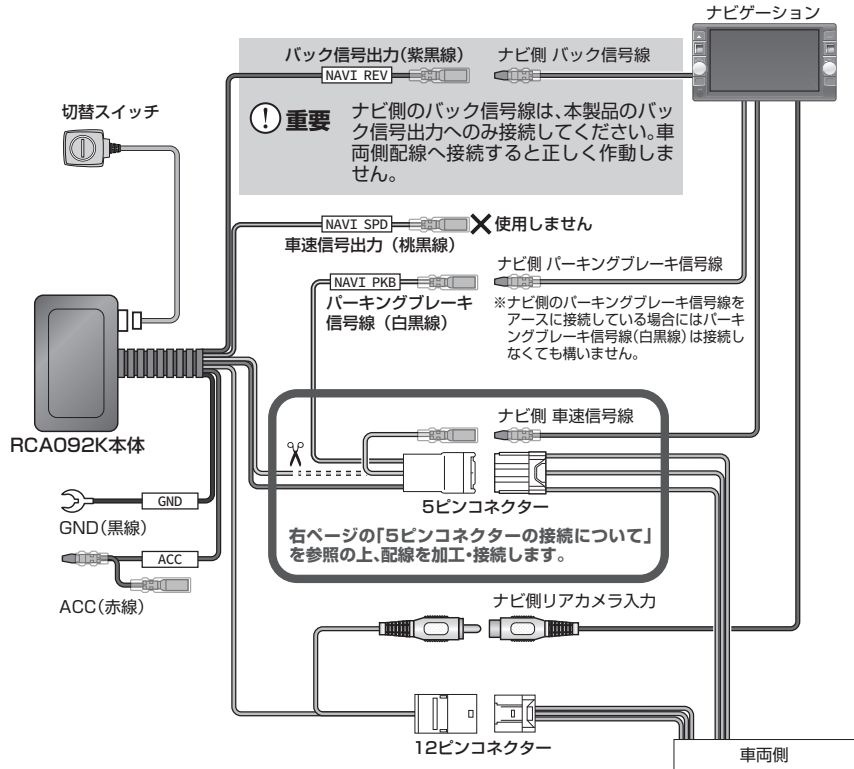
接続概要図

【クロスビー (R2.11 ~) へ取り付ける場合】



重要

本説明書はナビが装着されていない状態を前提としております。既にナビが装着されている場合は、ナビの信号配線(車速・バック・パーキングブレーキ)をはずしてから作業を行ってください。



注意

- 必要に応じてギボシ端子を取り付けて接続してください。
- 本製品の動作中は、ナビの自車位置が不正確になります。これは本製品がナビへバック信号を出力し強制的にリアカメラ画面を表示しているためです。不正確になった自車位置は、本製品の動作停止後にナビのGPS機能によって補正されます。(補正にかかる時間はGPSの受信状況により変わります)

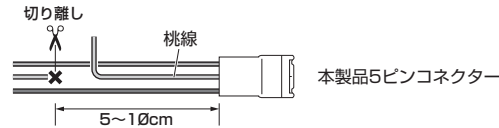
5ピンコネクターの接続について



重要

クロスビー(R2.11~)へ取り付ける場合は、本製品5ピンコネクタ内の車速線(桃線)を加工してナビ側の車速信号線を接続します。この加工をおこなわないと、切替スイッチのLEDが点灯したままになり、バッテリーの消耗につながります。

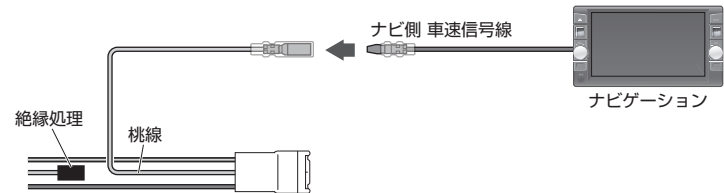
1. 本製品5ピンコネクタ内の車速線(桃線) をコネクタから5~10cmの位置で切断します。



注意

- 桃線以外の配線(紫線・白黒線)は切断しないでください。

2. 切断した桃線(本製品5ピンコネクタ側)とナビ側の車速信号線を接続します。本体側の桃線は使用しないため、ビニールテープ等で絶縁処理してください。



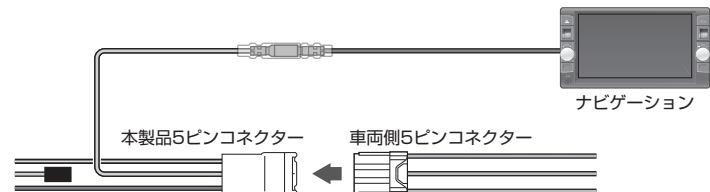
注意

- 必要に応じてギボシ端子を取り付けて接続してください。



- ディスプレイオーディオなど車速信号線がない場合は、切断した本製品5ピンコネクタ側の桃線への接続は不要です。切断した本製品の桃線の両方をビニールテープ等で絶縁処理をしてください。

3. 本製品5ピンコネクタと車両側5ピンコネクタを接続します。



全方位モニター/左右確認サポート 設定変更について

1. Pレンジ、かつパーキングブレーキをかけた状態で、画面に3D(車外もしくは車内)を表示して切替スイッチを2秒以上長押しすると設定画面が表示されます。
2. 設定画面(下図参照)が表示されると、以下の順で設定する項目が①から⑩の順に自動で移行します。
次の項目に移行するときは切替スイッチが4回点滅します。



3. 設定項目のアイコンが自動で変化しているときに切替スイッチを押すことで、お好きな設定に変更することができます。
4. 設定変更後、切替スイッチを操作せず3秒ほど経過すると次の項目へ移行します。
5. 設定項目⑩まで移行後、スイッチを操作せずに時間が経過すると設定画面が終了してナビゲーションの画面が元の画面に戻ります。
(ナビゲーションの画面が元の画面に戻るまでの時間は状況により変化します。また元の画面に切り替わる前に3D(車外もしくは車内)が一瞬表示されます)



●左右確認サポートとは、全方位カメラの検知範囲内を人や車両などが移動するとブザーとともにカメラ画面に表示を点灯してお知らせする機能です。



注意

- 本製品ではオープニング表示機能が使用できないため、設定を変更(ON・OFF)することはできません。
- 前進時の左右確認サポートをOFFにした場合、後退時の左右確認サポート項目へ移行するまで15秒ほど時間がかかります。
後退時の左右確認サポート項目のアイコンが変化するまで切替スイッチを操作せずお待ちください。
- 設定画面はいずれかの条件で終了します。シフトレバーやパーキングブレーキ操作での終了は意図しない設定に変更される恐れがあるため行わないでください。
 - ・後退時の通知音項目(ON・OFF)まで自動で移行してから10秒ほど経過
 - ・Pレンジ以外へシフトを操作したとき
 - ・パーキングブレーキを解除したとき
- 設定項目①で左右確認サポート設定を選択した場合、項目②～④をスキップして項目⑤から移行します。